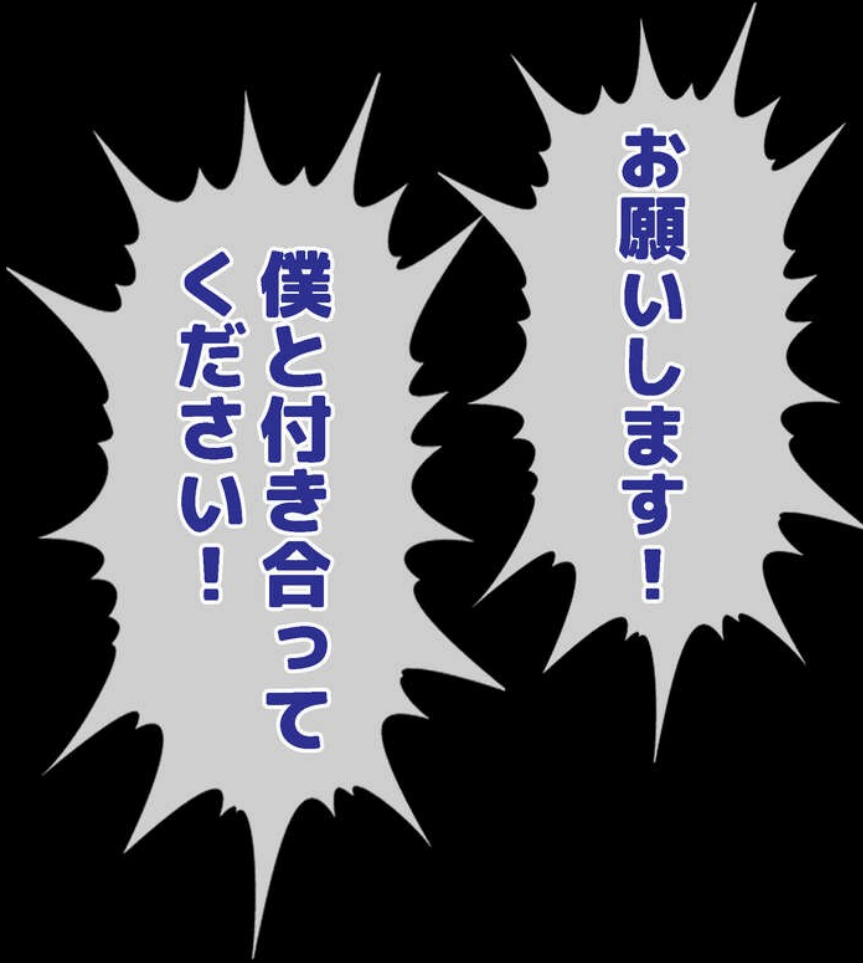


女性だけ裸の船上婚活パーティ





お願いします！

僕と付き合って
ください！

ホール内に男性の声が響き渡ります。
突然のプロポーズにざわつく場内。



どの男性もスーツを着用し女性はドレスを着ています。そう、今は婚活イベントの真っ最中。





「ていうか
年収低いとか
背低いとか
そんなダサイところ
強調して」

「えっ？」

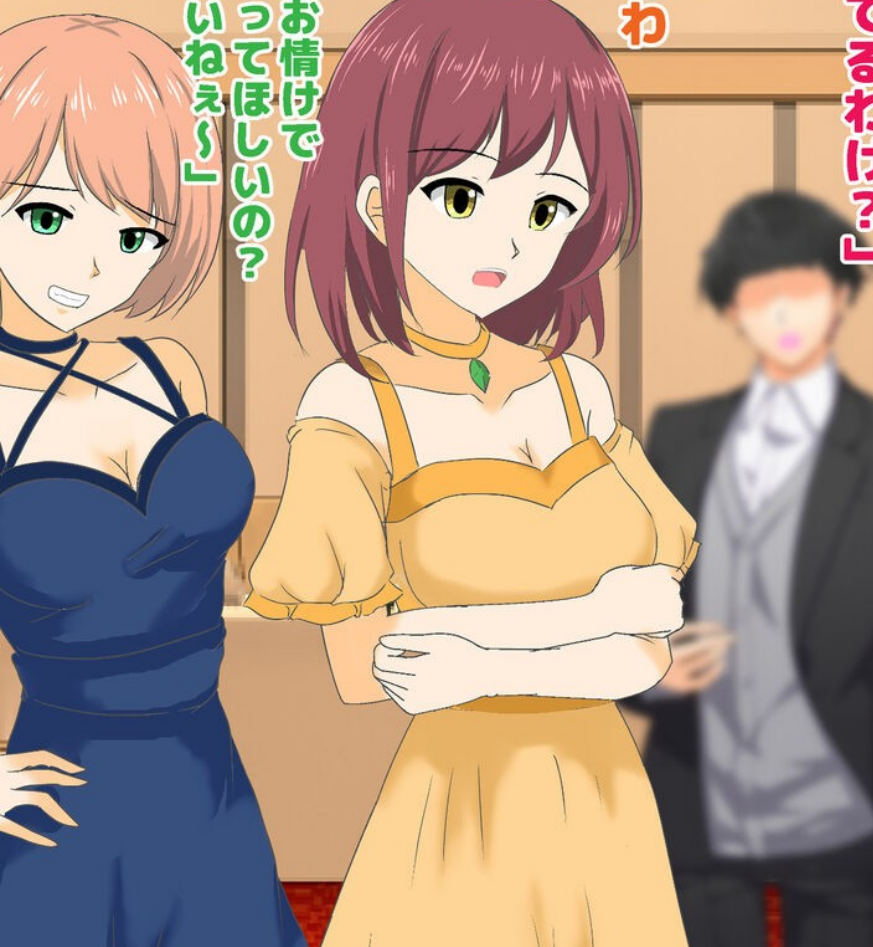
ざわ
ざわ

ざわ
ざわ

「付き合ってくれる
女性いるとでも
思ってるわけ？」

ざわ
ざわ

「何？お情けで
付き合ってたほしいの？
情けないねえ」





「あはは、残念でした」

ざわ
ざわ



「ゴミだねゴミ！
あっち行って！」

ざわ
ざわ

「もういいよ
そんな自分を
卑下した男なんて
魅力感じないから」

「そ、そんな
わけじゃ・・・」

ざわ
ざわ

「今回もろくな男がいなかったね」

「そうだね。ま、でも料理はまあまあ美味しかったかな」

「うんうん、むしろそっちがメインだもんね！」

「女性無料だしね！
ああ、女に生まれてよかった」

私達は学生の頃からの友人同士。
二人とも社会人になってかれこれ数年。

いつしか年齢は20代後半に差し掛かり、焦りからこういった婚活パーティーに参加するようになりました。





それから1か月。

久しぶりにカフェで再会した私達は仕事の愚痴や恋バナに花開かせ、楽しい時間を過ごしていました。

いつしか話題は婚活の話に。スマホで婚活イベントを検索していると、ある一つのページに目が止まりました。

「ね？ね？これ見て！船の上でパーティー
だって！」

「ほんと？すごくない！？
でも女性は無料なの？あ！無料だ！」

ちよつと贅沢な婚活
はじめませんか？

豪華客船婚活パーティー

7/30

※女性は無料！
(Cカップ以上限定)

10:00～18:00

フェリーエスポナール号

浜大さん橋集合・現地解散
服装の指定はございませんがフォーマルな衣服推奨
男性参加費用15,000円

お問合せ

☎0120-000-000

運営・長宗我部グループ婚活事業部

「そうなの！雰囲気も良さそうだし、
男性の参加費高いからお金持ちもいる
かも！」

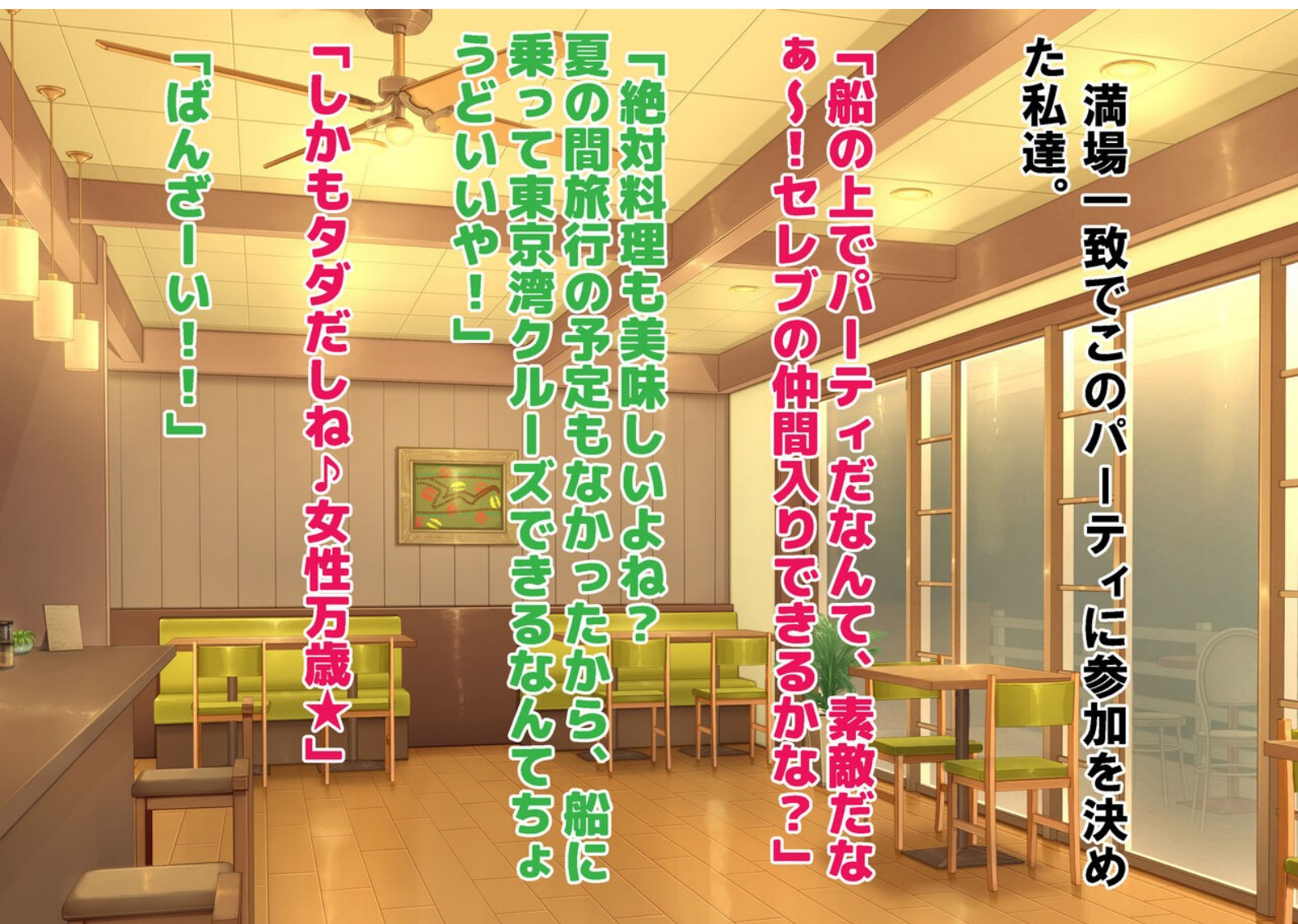
満場一致でこのパーティに参加を決めた私達。

「船の上でパーティだなんて、素敵だなあ〜！セレブの仲間入りできるかな？」

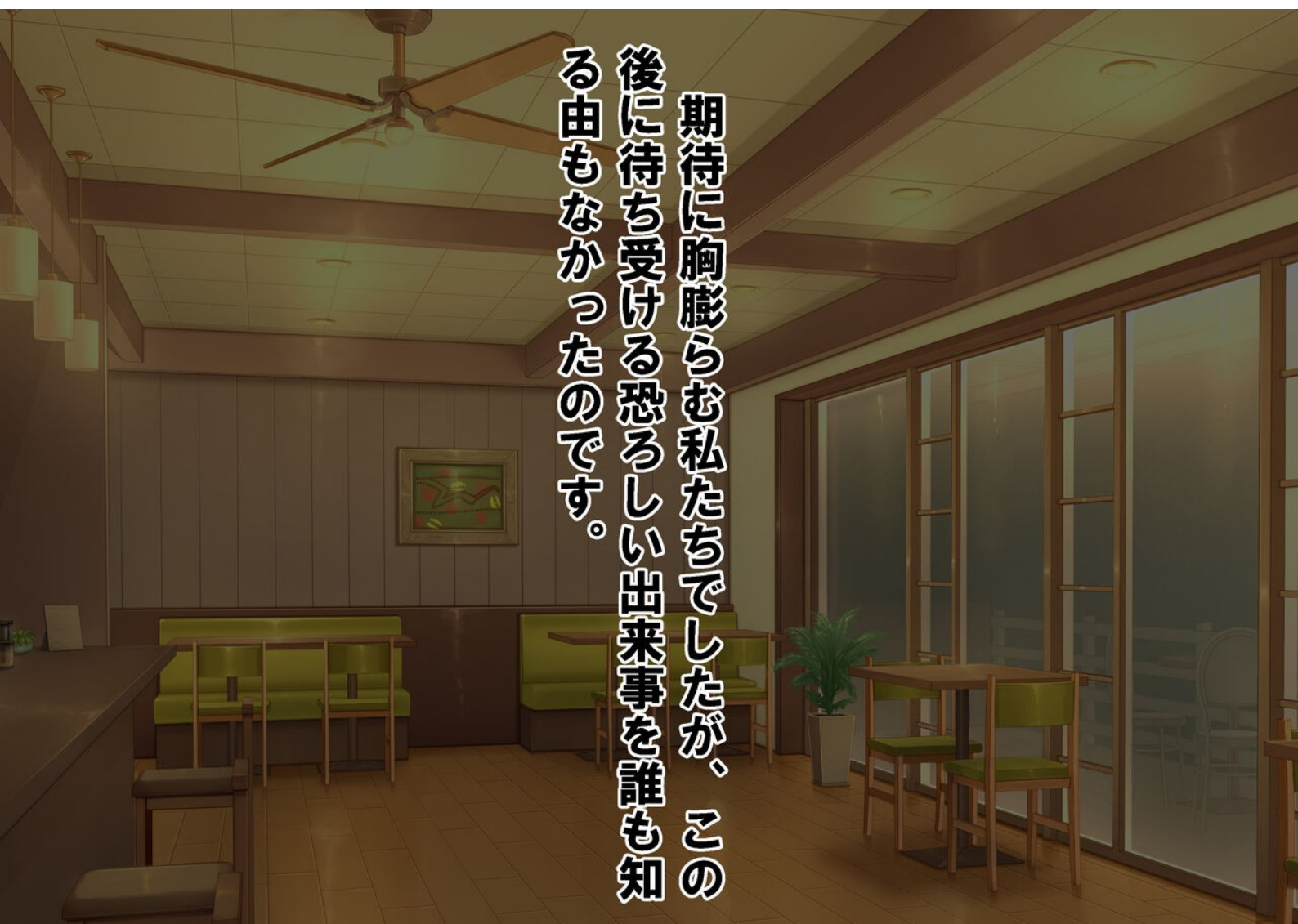
「絶対料理も美味しいよね？夏の間旅行の予定もなかったから、船に乗って東京湾クルーズできるなんてちょっといいや！」

「しかもタダだしね♪女性万歳★」

「ばんざーい!!!」



期待に胸膨らむ私たちでしたが、この
後に待ち受ける恐ろしい出来事を誰も知
る由もなかったのです。



さらに月日は流れ、豪華客船婚活パーティーの当日。

集合場所の横浜港に停泊していたのは巨大な船でした。



「わあ〜！
すごい！」

「すごいね！
私達これに
乗るんだあ！」

こんなに大きな船を間近で見るのも
初めてだったので私たちはテンション
上がりまくりです。



私達を含め集まった数十人の2〜30代の男女は、船員に誘導されるまま船内へ移動していきます。

ドン！

「あ、ごめんなさい！」

その時、近くにいた女性の肩が私にぶつかりました。



「いえいえ、大丈夫ですよ」

「ああ、そんならよかったわ
ウチ緊張してるのか
乗る場所間違えたか思て」

「お互いイイ人見つけよなくほいじゃ」



「大丈夫だった
那美ちゃん？」
なみ

「うん。なんか今回の参加者の女の人の
レベル高そうだね・・・
(おっぱい大きかったな)」

「そうだね、喋りからして関西の人だったのかな？(おっぱい大きかったな)」



列に並ぶこと数分、やっと中へ入ることができました。

船内はどこもかしこも豪華な装飾がなされていて、お姫様にでもなった気分です。



「そういえば今回の
男の参加者はどう？」

「うーん、思ってたほどでもないかも
・・・なんか安物のスーツ着てる人
多いし」



「見たところ
イケメンは
いなさそうだね
年収はどうだろ？」

おい、なんか
言いたい放題
言ってるぞ？

性格悪い
女だな...

「それが話すまでわからないとこだよね。
もういっそのこと首に札ぶら下げて
年収揭示してくれないかな？」

「ハハハ！
それいいかも〜！」



やがて船は汽笛を鳴らし出航します。

甲板へそそぐ海風と心地よい塩の香りにワクワクが止まりません。





航行を続けること数十分。いつしか
岸は完全に見えなくなり、船は外洋に
出ました。

どこまでも続く水平線を眺めっていると
心が洗われるようで、婚活のためにこの
船に乗ったことを忘れてしまいそうです。

「見てみて！」

「すごくいい!!」

レストランスペースには、用意された
たくさんのご馳走が並びます。

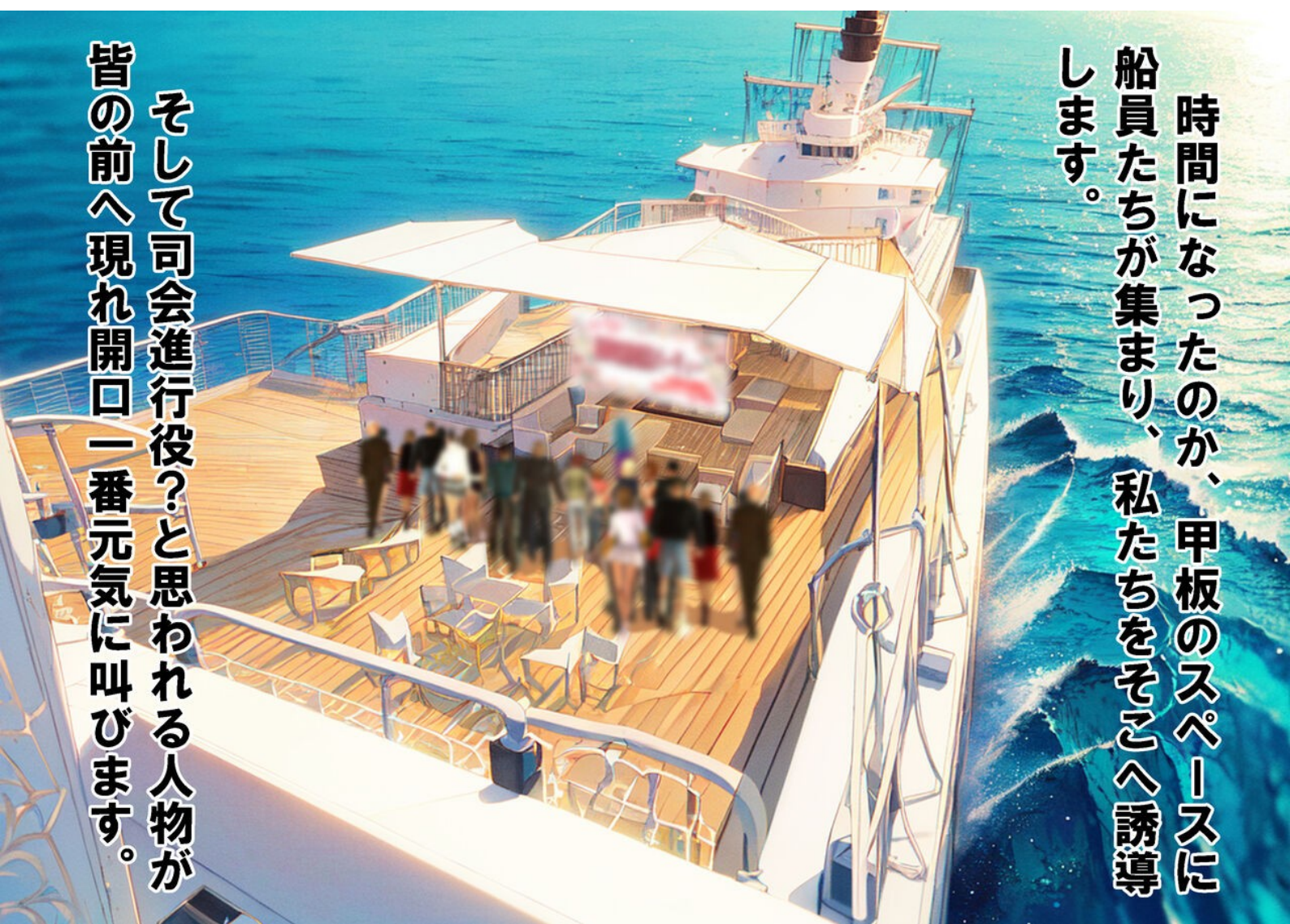
今までに参加したどのイベントよりも
グレードが高く、ますますテンションが
上がります。





時間になったのか、甲板のスペースに
船員たちが集まり、私たちをそこへ誘導
します。

そして司会進行役？と思われる人物が
皆の前へ現れ開口一番元気に叫びます。





豪華客船婚活パーティー

※男性は無料！
(女性性はCカップ以上限定)
1人15,000円

ボクは当イベントの
総合司会者
宮野コータローくん
でえっす！

はあーい！皆様
ようこそお越し
くださいました！



「自分で面白いとか
思ってたのかしら？」
だだすべり
なのに・・・」

「なにこの司会者
ウザいんだけど」



豪華客船婚活パーティー

※男性は無

性はCカップ以

1人15,0

ヒッ
ヒッ

この度は
エスポナール号へご乗船
ありがとうございます！

豪華客船婚活パーティー

※男性は無料！
(女性性はCカップ以上限定)
1人15,000円

この婚活イベントで
多くのカップルが生まれることを
ボクちゃん祈ってるよ！





え？

は？

ざわ
ざわ

ざわ
ざわ

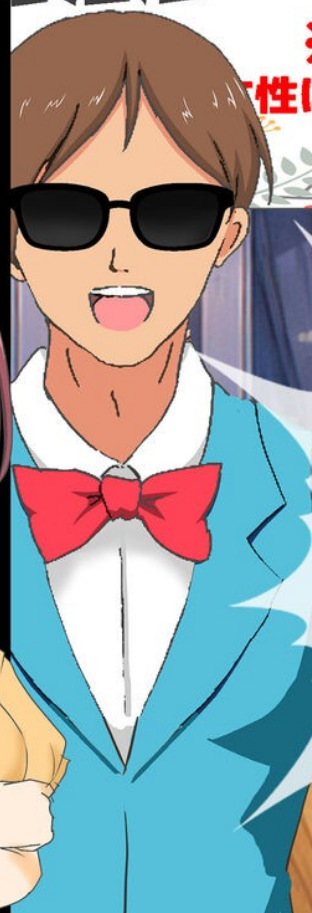
婚活パーティー

※男性は無料！

女性性はCカップ以上限定,
1人15,000円

ではまず参加料金を
徴収しようかな！

ここに書いてある通り
女性は1人
1万5000円だ！
あ、男性は無料で
いいからね



「え？何言ってるの？
女性は有料だよ？」



「ちょっとちょっと！何それ！
女性は無料ってスマホのページに
書いてあったじゃない！」

「よく見てみなさいよ！」

「あ、これは誤植だな。

間違いだ間違い！
本当は男性無料で、
女性が有料
なんだ。」

「は？ そんな間違い
許されるわけ？」



「あんた責任者でしょ？
どうにかしなさいよ」

「そーだ
そーだ！」

「……」

「ほらどうしたの？黙ってないで
なんとか言いなさいよ」





バシヤアアン

甲板にいた全員が驚愕しました。
え？え？お客さんを海に蹴り飛ばした？
司会者のその奇行に誰もが呆然として
います。

何するのよ! ちょっと!!



ガハッ!



ただ、船の規定に
従えないお客さんに
降りてもらっただけさ

もちろん
分かってるよぉ

あんた自分が何をしたのか
分かってるの？



は！？なんですって！？

このままじゃ

あの人溺れちゃうから

浮き輪投げてあげて

えっいや、
引き上げなさいよ！
まさかこのまま……

大丈夫

この辺は漁師さん
の船が行き来する場所
だから運が良ければ
助けてもらえるよ

運が良ければね(笑)

船上はこの「一部始終にぞわつきます。
さっきまでウザいと思っていた司会者
のサイコパスぶりに、参加者の誰もが
戦慄します。

ま、まさか私達とんでもないイベント
に参加しちゃったんじゃないか……





というわけで船上では
船長でもあるボクちんの
ルールに従ってもらい
まあす！

豪華客船婚活パーティー

※男性は無料！
(Cカップ以上限定)
1人15,000円

納得いかない人は
こんな風にいつでも
船を降りてもらうからね！



どうしよう？ 逃げるにも船は岸から
遠く離れ、見えなくなっています。
スマホも電波圏外。助けも呼べない。

見たところ船員もグルみたいだし、
これって完全に詰みじゃ。。。。



ではイベントの
ルールを説明するね。

おやおや
どうしたのみんな
顔が暗いよ？もっと
盛り上がって行こうよ？



船内にいる
参加者に
お互いどんどん声を
掛け合ってね！



客船婚活パーティー

※男性は
1人1杯

この婚活パーティーでは
運命の相手を皆さんに
見つけてもらいます。

見事カップル成立した
人たちはなんと！

少し遠くで並走しているあの船！
エスポナールⅡ世号！
あっちの船へ移ってこの船を
降りることができるよ。



途中「アピールタイム」も
何度か挟むのでうまく
活用してね。

豪華客船婚活パーティー

※男性は無料！
(Cカップ以上限定)
1人15,000円

夕方6時がタイムリミット。
それまでに成立できなかった人達は、
浮き輪で泳いで帰ってもらうから
よろしくね！



あ、女性の参加者の方が
かなり多いので、何人かは
あぶれちゃうかも(笑)

な、なんて無茶苦茶なルール！
こんなのデスゲームじゃない！しかも
確かに女性の方が多い！ど、どうしよ
う・・・



あ、女性はちゃんと
お金を払うんだよね
受付でよろしくね

豪華客船婚活パーティー

※男性は無料！
(女性はCカップ以上限定)
1人15,000円

それじゃあ張り切って！
よいスタート！



もはや私たちに拒否する権利はありません。受付でなければの1万5千円を払い、このゲームは開始されました。



女性の方だけがお金を払うなんて。。屈辱です。払い終わった女性たちは我先へと甲板へ戻り男性たちへ声をかけます。

ねーねーどこから来たの？
背高くてかっこいいよね！

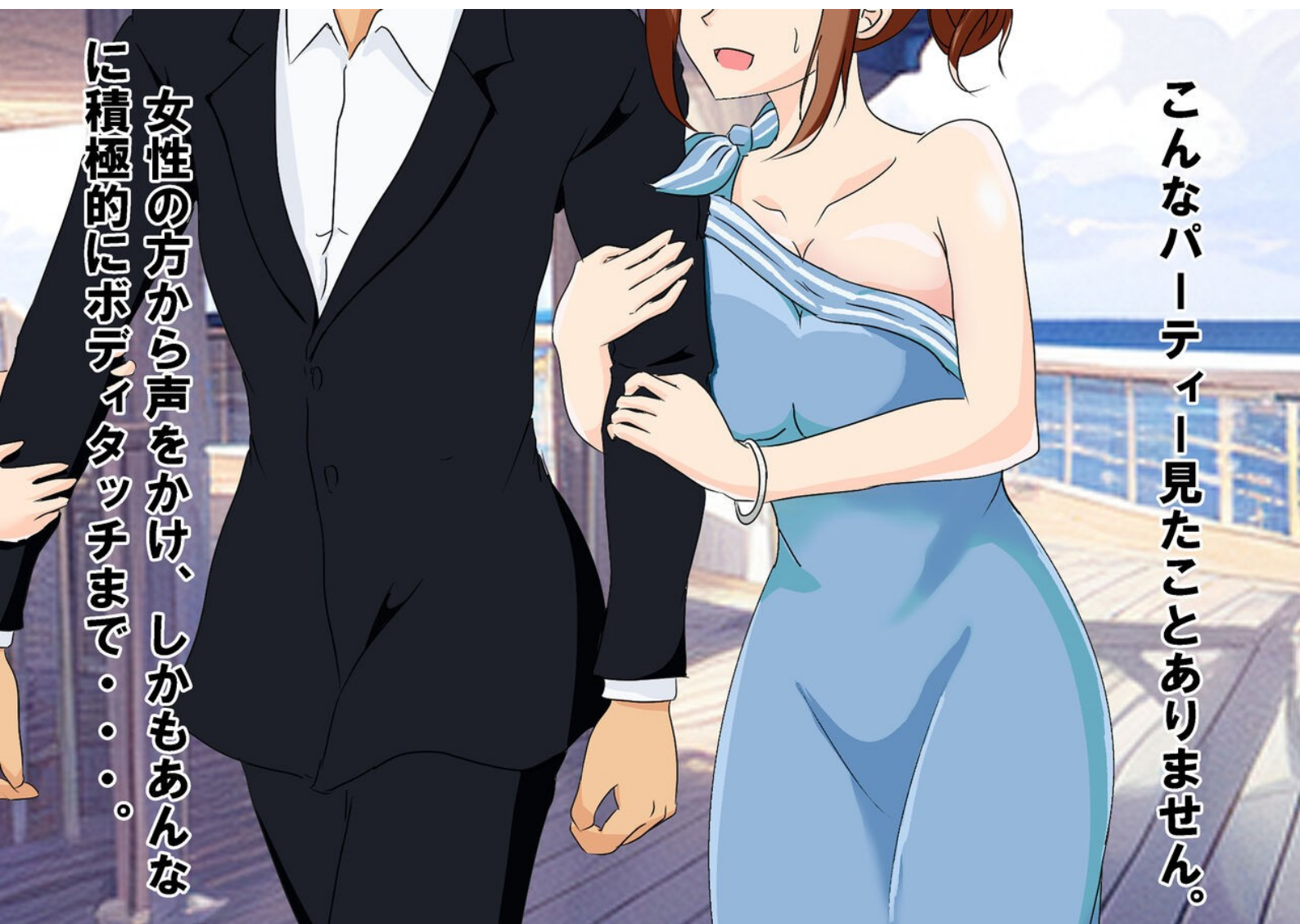
え？
ちょ、ちょっと……

ねーねー
私と話そう？
私なんか
商社に勤めてるん
だから！



こんなパーティー見たことありません。

女性の方から声をかけ、しかもあんなに積極的にボディタッチまで……



フッフ、見たまえ！
需要と供給のバランスが
見事に逆転している

これだよ！私が
見たかったものは！

こんな企画考えるなんて
きつとこの人婚活パーティー
で失敗したんだろうな……





わわ！ちょっと！

ねえねえ
こう見えて私
結構胸大きいんだよ？

ぎゅっ



ウソ? あんなに堂々と
触らせて...

ほら? 触った感じも
柔らかいでしょ?

私と付き合ってくれば
毎日触らせてあげるんだから

え...
うん

ぎゅ

ぎゅ

ぎゅ

ぎゅ

女性のうち何人かは確実に余る！
そんな恐怖から次々と強行手段に出る
女性が続出！

初めは戸惑っていた男性たちですが、
次第にこの場の雰囲気慣れていきます。







「え！」

「そ、そうでしょ？
ねえよかったら私と……」

「へへっ！
色っぽいの履いてるじゃんか！」

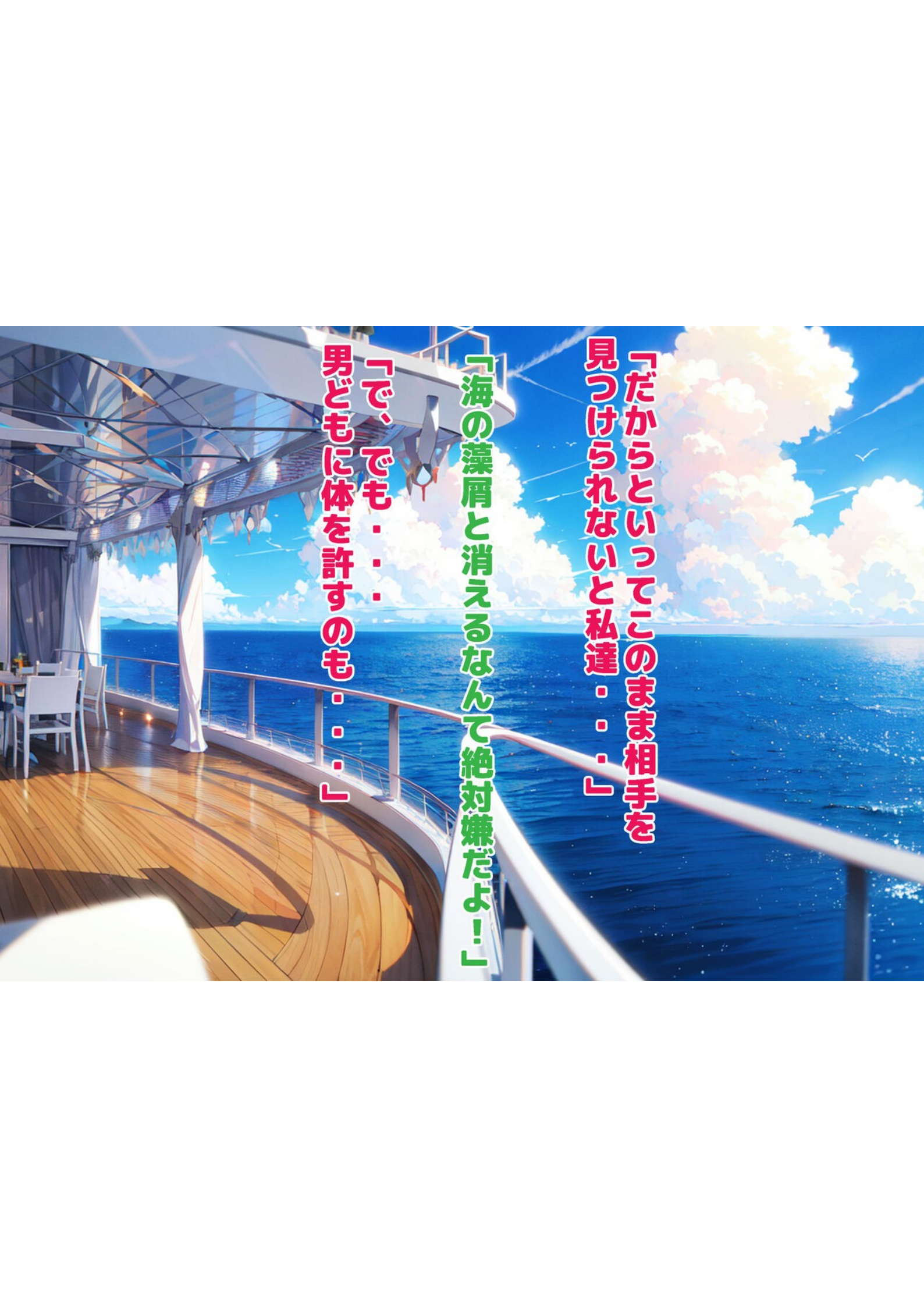
「もぉ〜！エッチなんだから！」



「私もさつき胸触られた！
男たちめ・・チクシヨ〜」

「どうしよう史帆ちゃん！
完全に無法地帯と化してるよ！」





「だからといってこのまま相手を見つけれないと私達……」

「海の藻屑と消えるなんて絶対嫌だよ！」

「で、でも……
男どもに体を許すのも……」

「お困りのようかな？
そこのお二人！」



「な、何よ！」

「こっち来ないでよサイコパス！」

「フッフ、そんなに怖がらないでよ〜」



場の雰囲気も
あったまってきたところで

豪華客船婚活パーティー

※男性は無料！
(Cカップ以上限定)
1人15,000円

最初の
アピールタイムと
いきますか！





何か勘違いしてる人も
いるみたいだけど、
アピールするのは女性の
方だからね？

豪華客船婚

アピールタイム？



えええ!?

は!?

※男性に

Cカップ以上で

1人1500円

男性に自分の魅力をよく知ってもらおうよう
まずは下着姿になりましょうか

「アピ...」



「アピールタイム!アピールタイム!」



「え?何?」







ちよっと！
なんなのこれ！

何って？うちの
配膳ロボットは優秀
でしょう？

女性の衣服を瞬で
吸い込むことが
できるんだ！

さあ、アピール
しやすい格好になった
ところでどんだん男性
に声をかけようね！



おぉー

うう...
なんてイベント
なのよ!

うわ...
男の人たちの
視線が刺さる

オオ

は、恥ずかしい...
でもここでなんとか
相手が見つければ...

スゴ

お金どころか
服まで取られ
ちゃうなんて...

オオー



これじゃまるで
ランジェリーパ
じゃない！

あはは

へえ
こういう下着が
趣味なんだあ
エロいな

ヒュー

えへへ
可愛いでしょ？

もみもみ

オオ

よかつたら私と一緒に
船を降りない？

そうだなあ
どうしようかな

もうちょっと色々と
堪能したいし(笑)

オオ

「下着の上からじゃ揉みにくいなあ」

「そうだな！おっぱいは張りが大事だし……脱いじゃおうか？」

「え？いや、それはさすがに……」



女性は全員この場で
全裸になってね！

豪華客船婚活パーティー

※男性は無料！
（Cカップ以上限定）
1人15,000円

さすがお客様！
おっしゃる通り！では
ちよっと予定を早めて
2度目のアピールタイム
としましょう！





1人15,000円

この変態!

ふざけないでよ!
これ以上脱げって言うの!?

おやおやそんなこと
言ってもいいのかな?



ま、脱ぐ気がないならまた
この子たちの出番だけだね

ひっ！

ど...ど...

ど...ど...

分かったわよ！

脱げば
いいんですよ！

ここはもはや治外法権。守ってくれる
社会も法律もないこの船の上で私たち
女性是完全な弱者です。



どうやっても逆らうことはできない。
観念した女性達はブラ、そしてパンツ
に手をかけるのです。

ヒュー

いいぞー

オオ

うう、見られてるぞと
脱ぎにくい……



ランジェリーパプの次は
ストリップショーまで
させられて……

何なのよこのイベント……
最悪じゃない

オオ

ヒュー



スゲー

おおお！
きたあああ！！

ヒュッ

ヒュッ

ぽん

オオッ

ナマちち！
ナマちち！

オオッ

おお！いいカタチの
おっぱいだぞ！



股間だけ
隠すのも
エロいなく
やっぱりそこは
女の子にとって
大事なところ
なんだね

東京の婚活イベントは
厳しいんやなあ

いいぞー!!
最後の一枚も脱げえ!

せめてパンツは
許してもらえると
思ったのに...

うう、こんな船
早く降りなきゃ

ヒュー

オオー

ヒュー

ズグ

オオ





おはは

逆に見ろよあいつ！
まな板じゃん！

あはは、完全に
ぺったんこ
じゃねえか！

ここは大人の婚活パーティーだぞ！
G学生は来ちゃだめでちゅうよく(笑)！

だはな

安物のスーツ着て
低収入のくせに！

うるさい！胸の
大きさをなんて
人それぞれでしょ！

おはな

「おお、そうだそうだ
ネームプレートを忘れていたよ
女性全員これをつけてね」



司会者を取り出したのは私たちの名前
が書かれた名札。参加申請時に申告した
胸のカップごとにヒモで色分けされてい
るようです。

裸に名札にカップ数まで書かれて…
まるでここは奴隷市場のようです

私たちはCカップで申告したのですが、
周囲の人と比べるとその小ささに盛った
のがバレそうでハラハラしています。





Cカップ以上
限定

あなた

(どうしよう私こで
申告したけど
そんなにあつたつけ...)

(うう...
触るならせめて
手洗つてからに
してよね)

まあCカップなら
こんなもんか

揉み心地は...
結構張りがあるな

改めて
おしゃべりしようか?
海老原さん?
へえ、毛濃いいね

あなた

(やばい...
貧乳なのバレてるよね...)

川田 静美
Cカップ

船岡 史帆
Cカップ

海老原 菜々
F

あなた

はい

「司会者さん！手で隠してる女が多くて
見えねーんだけど」

「下の毛もよく見ねえと判断
できねえよ！」

「うん、せつかくのアピールタイム
なのにそれは良くないね！」

「ほら、ちよつと女性のみんなそこに
並んでくれるかな？手は隠さないで」







尻もいいねえ
プリンプリンだ！

見んといて・・・

もう！見ないでよ

いいのか？
選ばれなかつたら
海にドボンだぞ？

ヒュー

レイザー

オォー

オォー

ぷん
ズザ

ぷん

（うう、彼氏以外に見せたこと
なかったのに・・・サイアク）

うっ!!



「司会者さん！
こいつどー見てもCカップも
無いでしょ？詐欺だ！詐欺！」

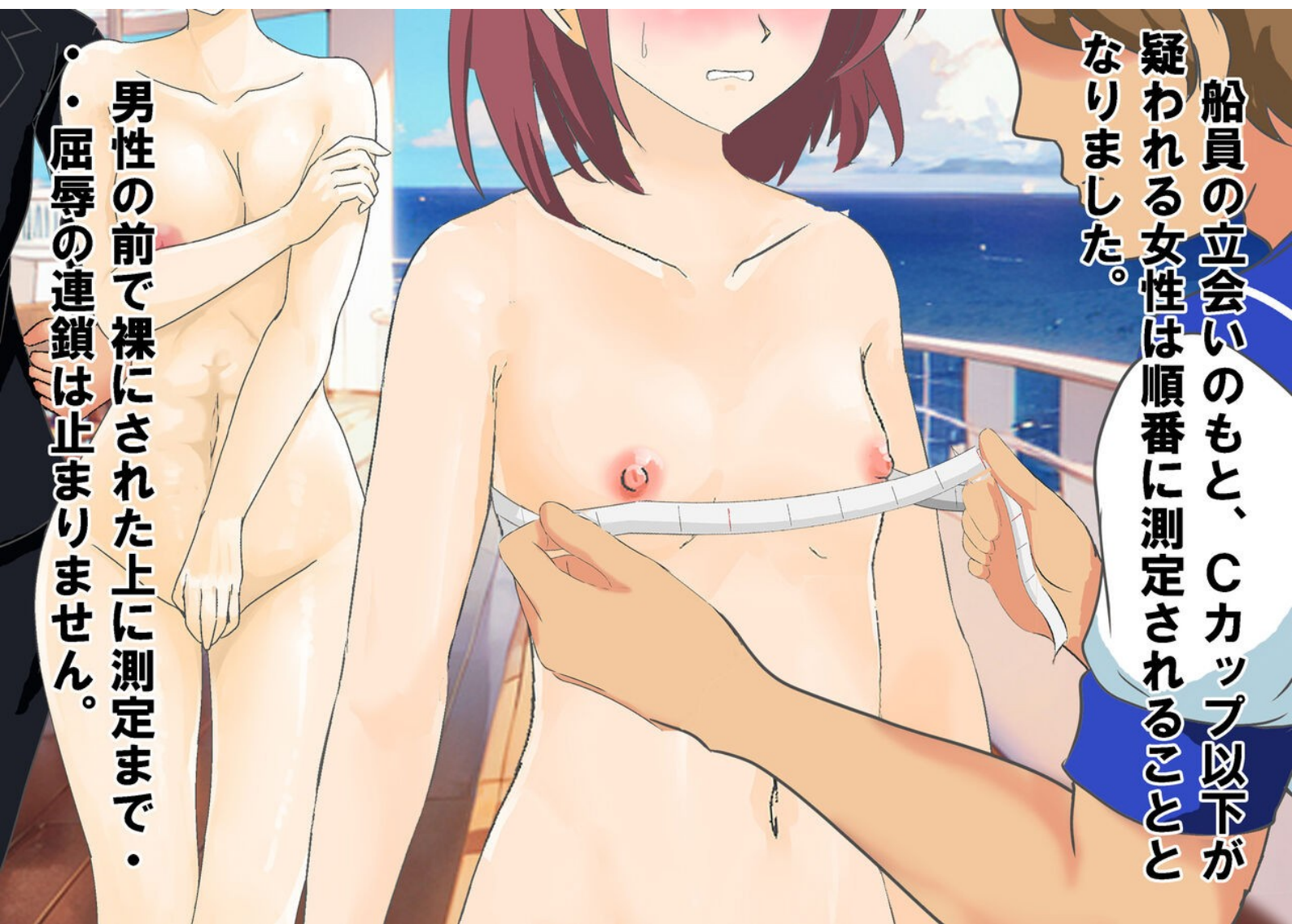
「おお、これまた
貧相なペチャパイ
だねえ」



「そうだね、今回のイベントは
Cカップ以上限定だから
それ以下だったら**詐称**
ということになるねえ？」

船員の立会いのもと、Cカップ以下が
疑われる女性は順番に測定されることと
なりました。

男性の前で裸にされた上に測定まで・
屈辱の連鎖は止まりません。



バスト80センチ

トップとアンダーとの
差が9センチなので
Aカップですね

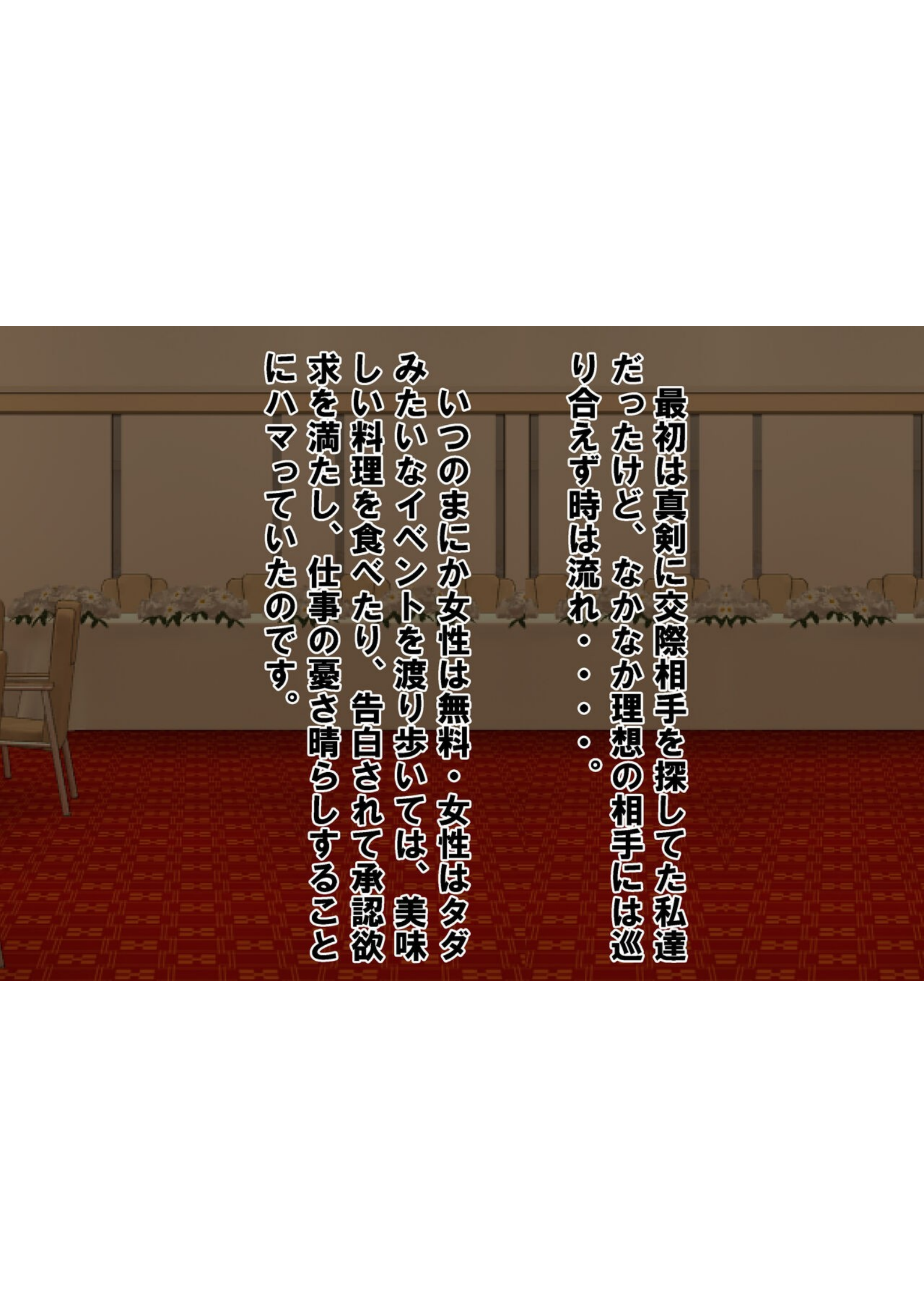
バレた...
詐称してたのバレた...

やバ...
私もBなのバレる!?

おやおや君たち
嘘は良くないなあ

裸になっちゃえば
男性の前で隠し事なんて
一切できないからね





最初は真剣に交際相手を探してた私達
だったけど、なかなか理想の相手には巡
り合えず時は流れ。。。。

いつのまにか女性は無料・女性はタダ
みたいなイベントを渡り歩いては、美味
しい料理を食べたり、告白されて承認欲
求を満たし、仕事の憂さ晴らしすること
にハマっていたのです。

このイベントは
Cカップ以上限定なのに
嘘ついて参加するなんてね

これは重大な規約違反だ
ペナルティが必要だね

ひいっ！
ごめんなさい！

まさか裸にされるなんて
思ってもみなかったから

はい、そこに
手をつこうね





私と史帆ちゃんも含めて全3名が
カップ詐称で制裁を受けました。



私たちは胸の大きさによる完全な女性
格差を思い知らされたのです。ヒリヒリ
と痛むお尻を潮風が撫でます。

そして追加ペナルティということで
陰毛を剃られ手錠とマスクをつけられ、
男性との会話は禁止されました。



イベント終了までこのゴミ置きスペースから動くななどのことです。
ヤバイ、このままじゃ私たち……

その頃・・・。

胸の大きい上級女子たちは男性たちに
選ばれ、それぞれが品定めを受けます。

ねえここ男子トイレでしょ？
いいのかな私・・・

別に構わねえさ
それよりもこっち来いよ





「え？ちょっと！個室二人で入るん！？」

「ひゃあ！そ、そんなの見せんといて！」

「え？それを挟む……？」





もっと挟んでーにーにーにー

が、頑張るからその……

ウチのこと選んで
ほしいなあ？

グニャッ
グニャッ
グニャッ

グニャッ
グニャッ
グニャッ



え？イキそう？
イクってどうすればええの？

え？そのまま？
動くなって？
それでええのん？

「うん、うん」

「うん、うん」



ひゃああ
すごい臭いだわ.....
どうしよこれ.....

ぬる

あぁっ顔に
髪にも.....

ぬる

どうしよう史帆ちゃん
このまま動けなかったら私たち
海底へ沈められちゃうよ

う、うん……
でもきつと何か方法はあるよ

方法っていつでも……

だ、大丈夫！
最後まで諦めちゃダメだよ
那美ちゃん！





カップル成立
おめでとございまーす!!!

え!?

ああ...
いいなあ...

女性たちは胸の大きい人から順番に
カップリングし、並走する船へ裸のまま
脱出していきました。

みんな……
頑張っ……

ぐへへ!! 街に戻ったら
続きしようぜえ

うへへ!! 最高の
おっぱいと出会えて
最高のイベントだったぜえ!

触らんといて!!
みんな見てるよお



船内の雰囲気は次第に荒れてきます。

男性が減ってきたのです。焦りから
女性は積極的に男性を漁り始めます。





男！男は
どこかに
いないの！？

何この
地獄絵図・・・

阿鼻叫喚って
感じだね

ねえ
おっぱい触るっ
おまんこも
触っていいよ？

うるさいな！

もう相手
決まってるん
だよ

でも私たちも参加しないと
このままじゃ・・・

誰でも
いいから！

ねえ！わたしと一緒に船降りよ？
わたしおっぱいはDカップだし
実家がお金持ちなの！



お、おい！

ちょっと・・・
何するんだ！

は？うちだって
親は医者なんだから！



ほら！フェラとか得意なんだよ！んっんっ

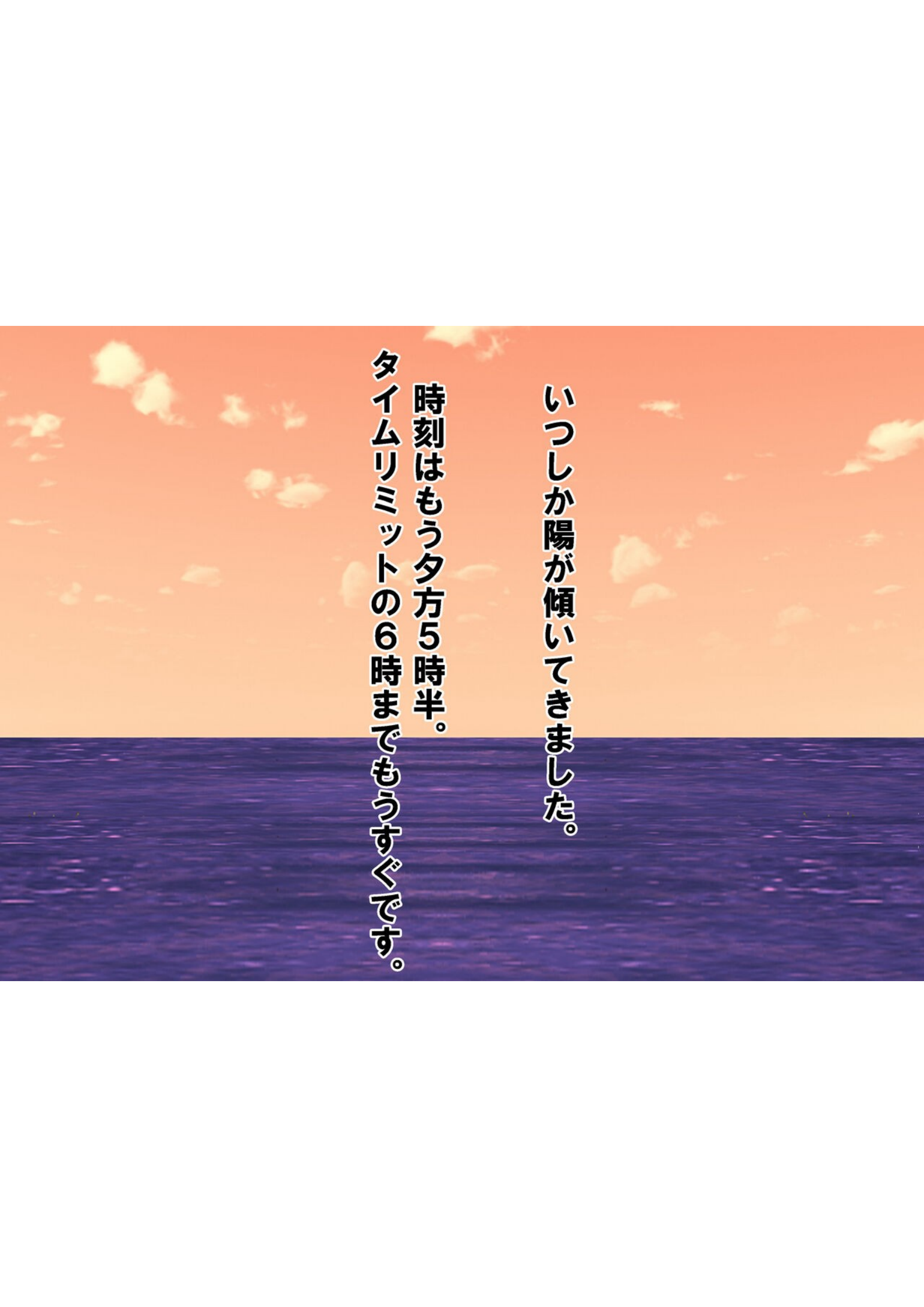
私の方が上手だよ！ほら！ねえ？

ふっふっふっ
くちゅくちゅ

くちゅくちゅ
くちゅくちゅ

くちゅくちゅ
くちゅくちゅ





いつしか陽が傾いてきました。

時刻はもう夕方5時半。
タイムリミットの6時までもうすぐです。

もうそろそろ
イベントも終わりだね。

うう・・・そんな・・・

フン、何よ！
覚悟は決まったわ！

海に突き落とされたって
泳いで帰って、あんたたちのこと
通報してやるんだから！

おお、
怖い怖い





私達に?

チャンス?

えっ?

でもね
君たちに
最後のチャンス
を与えようと思うんだ

見たまえ、ホールの中でお酒を楽しんでいるカップル様たちがいるね。

その前で一発芸でもして彼らに気に入られるんだ。



そうすれば2号でも3号でも、君たちのことをもらってくれるかもよ？

「は？何それ！

そんなバカな真似して第二夫人にでも
なれって言うの？そんなこと……」



「私やります！」「え？」



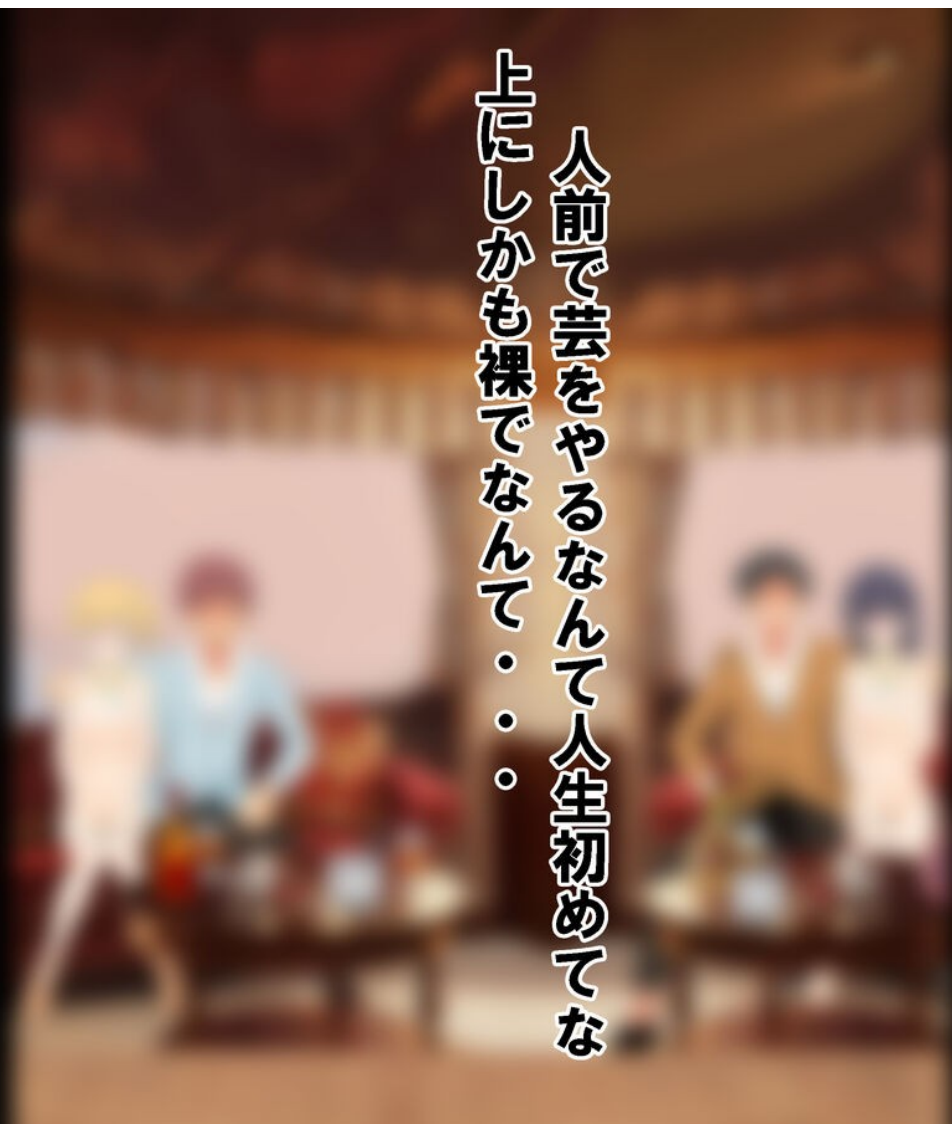
「乳も金も無い私にせつかく巡ってきた
チャンスです、やらせてください」

「おお〜そうになくっちゃー！」

彼女の決心に心を動かされ私たちは
全員ステージに上がる事になりました。

人前で芸をやるなんて人生初めてな
上にしかも裸でなんて・・・

もはや失うものなど何もありません、
あとは全てをさらけ出し頑張るのみです。



おちな

はい
かつぽれ
かつぽれ

オオ

だはは！
もつと足上げろおー！

ヒュ

いいや

そーれ
かつぽれ
かつぽれ

オオ

うはは！いいぞ！傑作だな！
かつぽれかつぽれ！

おちな

おちな



そーれ
かつぽれ
かつぽれ♪

いいやー

あー

だー

はいっ！
頑張ります！
あ、それ！
かつぽれ♪

ヒュー

あはは！

チチも尻もねえ女は
笑いで稼げ！

ていうかちょっと
見えてるぞ？
見せたいのか？
そのパイパン！

あはは

(貧乳な娘は裸踊りで
笑いを取るしか
ないなんて・・・
わたしムネあつて
よかったあ・・・)

オオ





では次！

はいっ！
全裸に見える
ポーズ！！

安心して下さい
履いてませんよ！

いいやー

オオ

あはは

ていうかポーズも何も
もともと全裸じゃん(笑)

だー

ウケルー！！

おもしろえ！

あはは
あはは

「え？ラストは私？
持ちネタなんて何も……」

おい、アオリ100%やれよ！！



「え？さすがにそれは……」

お盆も蝶ネクタイもあるぞほら！



で、では始めます

那美100パーセント...

んぐ...



えいっ

こん



オオ

次あれやってくれよ
お腹でお盆挟むやつ

やるじゃねえか

わかんなかった！
すげー

ピタ

はいっ！

いいぜー

おおー

見えた？

スネー

オオ



オォー

オォー

もう立派な芸人だな

ちゃんと隠れてる

いいやー

せーの
はいっ!

上手いじゃん!

スゲー

おおー



あはな

むしろ
見せたいんだろっ

ま、さっきから
そのスジマン何回も
見てるけどな

ガチャン

いいやー

ほっ

ああっ!!

だっさ(笑)

あはな

あはな

ですよねー(笑)

これにてパフォーマンスは終了です。



彼女たちの奮闘ぶりに免じて、2号として
もらってくれる人はいますかあ〜？

「誰ももらってくれないってさ
せめて何かアピールポイントないの？」



「え……その……」



「このままじゃ海中行きたよ？」

「実はわたし・・・
その・・・」



「しよ、しよ・・・
処女です!!!」

ざわ
ざわ

「え？処女？」
「マジか？」
「あの年齢で？」

ざわ
ざわ



「え？もしかして好感触？
それとも言わない方がよかった!？」

ざわ
ざわ

ざわ

ざわ

「へえ、生娘なのか、それは価値が上がるね(年齢にもよるけど)」

ざわ

ざわ



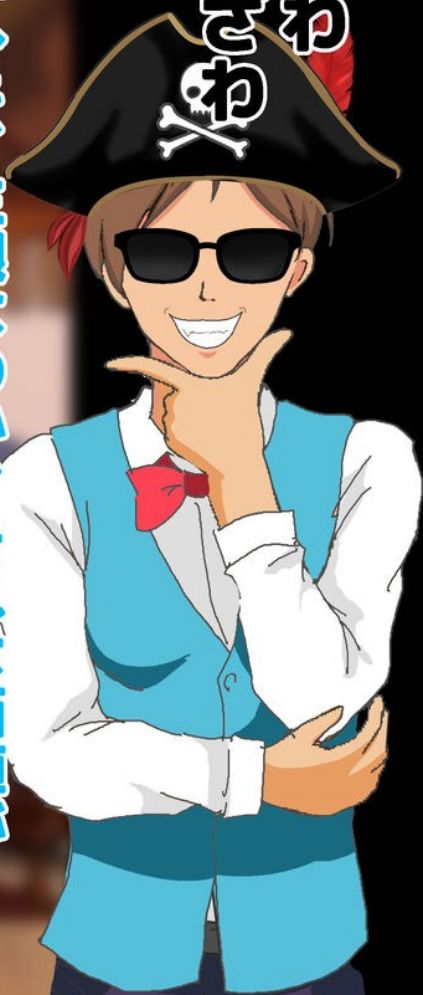
「でも君はバストの詐称をしたから疑わしいな、本当か確かめなくちゃね？」

「え？確かめる？」

ざわ

ざわ

「おい、アレを！」



ざわ

ざわ

「じゃーん！」

これは処女確認器という
うちの会社のスグレモノだ」

ざわ
ざわ

「え？ な、なにあれ！？
確認器……？」

ざわ

ざわ







さあさあ
みんなで確認
しちゃって
ください！

開いていいのか？
やっちゃうぞ？

おー大勢の前で
大股おっぴろげ！

女として
終了だね(笑)

やだやだやめて
触らないで！

いけいけ！
真実の口を
開ける(笑)

オオ

いやああ

オオ



ズグー

オオ

いいえ

エッチ！
ヘンタイ！

見ないで！
やめてええ！

オオ

(自分以外のこんなに奥まで
間近で初めて見た...)

ぬおお
おまんこパツクリ！
おい！中にも
穴があるぞ！

すげえ
明るいから中まで
よく見える！
この奥の方だよな？

はは

これが処女膜？
見えづらいな
これでいいの？

さっきまで
処女アピール
してたのに
見ないでとは
おかしいなあ？

「はい！処女だということが確認できました！では、彼女をもらってくれる人はいませんか？」



「いませんか？」

「ダメみたいだよ？
最後に誰かに告白でもする？」



「ぞ、そんな・・・
もうこれ以上は私・・・」



その時でした。観客席にいる一人の
男性に目が止まります。



「あっ！あなたは！！」

そこにいたのは以前の婚活パーティー
で私に告白してきた男性でした。







「ていうか、乳無いとか金無いとか
そんなダサイとこ強調して、付き合っ
てくれる男性いるとも思ってたんのか？」

「え？そ、そんなわけじゃ……」

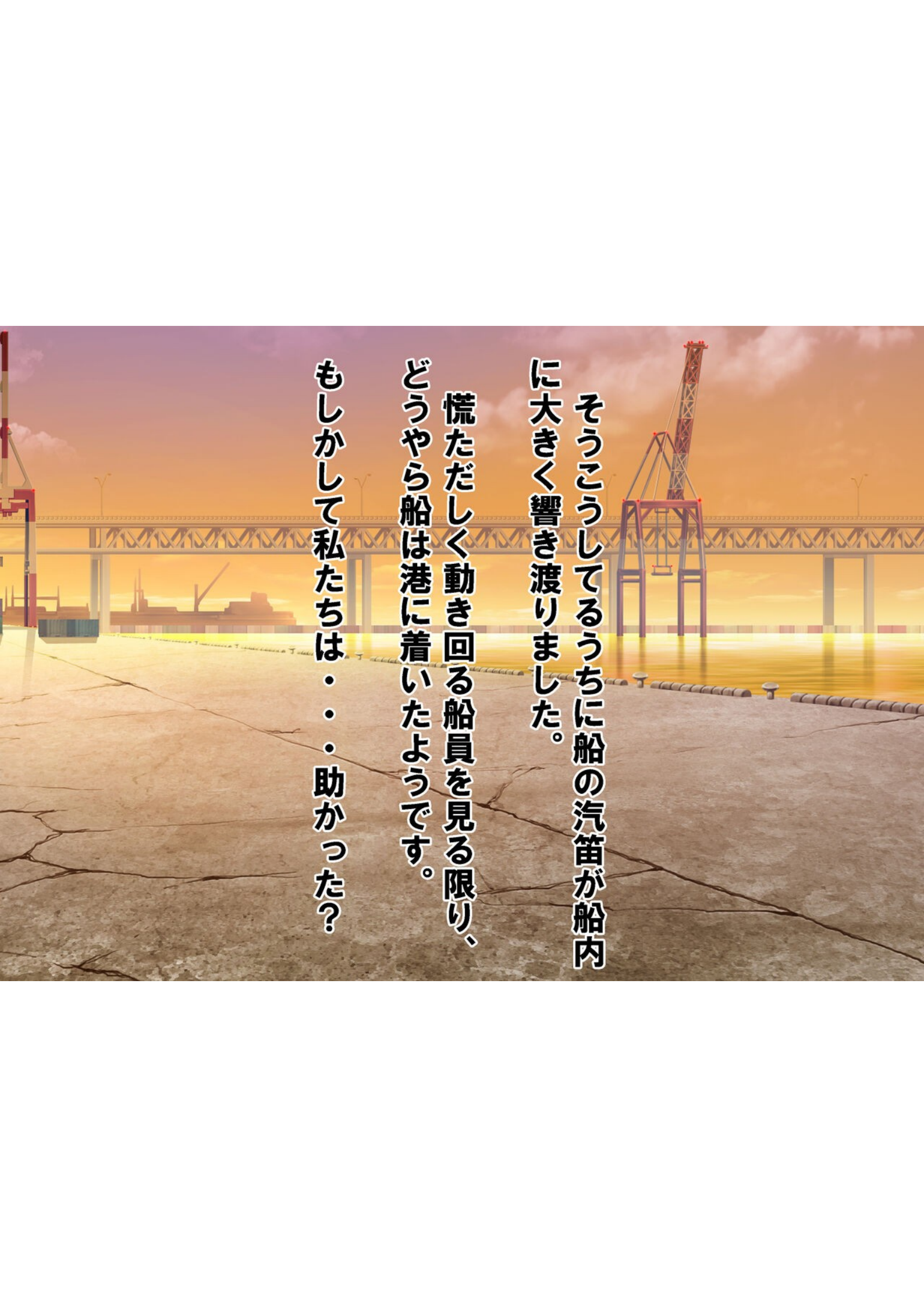
「こんなまな板貧乳女に
あんな偉そうな口叩かれていたなんてな」

「お前なんか裸芸くらいしか価値がない
需要ゼロの中年処女だよ」

パン

彼からの平手打ちをくらいステージは大盛り上がり。

あまり力は込められてなかったものの今の私には心にも身体にもズンと来る重すぎる一撃でした。

The background of the page is a digital illustration of a harbor at sunset. A large bridge with a lattice structure spans the water. To the right, a tall red and white crane stands on a pier. The water is calm, reflecting the orange and yellow light of the setting sun. The sky is filled with soft, colorful clouds. In the foreground, there is a cracked, light-colored ground surface.

そうこうしてるうちに船の汽笛が船内に大きく響き渡りました。

慌ただしく動き回る船員を見る限り、
どうやら船は港に着いたようです。

もしかして私たちは・・・助かった？

「フフ、君たちの一発芸タイムが
長引いたおかげでいつのまにか船が港に
着いちゃったようだ。」

「え？」

「うそ!？」

「助かったの私たち？」

「体を張った甲斐があったね(笑)」



カップルたちは船員の誘導で、順々に船を降りていきます。お互い好みのタイプで意気投合したペア、あるいは……

生きる伸びる為に無理やりくっついたペア、思いは様々でしょうが陸に戻った後彼らの新たなスタートが始まるのかもしれない。



「もう船降りれるの？」

「っ、次は私たちの番だよね？」

「まあ、待て待て！君たちはペナルティを犯した身だし、衣服も先に荷物係が持つて行っちゃったんだ。」



「まずは今一度手錠をかけさせてもらおうか、逃げ出して通報でもされたらかなわな
いからね。」



あとこっちの名れもつけてもらおうよ。
よし、この格好で下船してもらおうかな。」

胸元にデカデカと記された婚活失敗の文字。カップルたちが降りた最後に、女だけで歩く私たちが続きます。

わたしは婚活に失敗しました

わたしは婚活に失敗しました

恥辱の航海は陸に上がっても継続する
のでした。





なに?
何かの
プレイ?

なんだあれ!
婚活失敗?

二度と来るかバカ!

是非またお越し
くださいね!

わざわざこんな
格好させなくても...

おじちゃんが
相手してやろうか?
ん?(笑)

うう...
私達惨め過ぎる...

わたしは婚活に
失敗しました

わたしは婚活に
失敗しました





私たちは多くの港湾作業員たちの慰み者になりながらも、用意されたバスに乗りしやっと衣服を返してもらいました。

座席に座った瞬間、命が助かった安堵感と疲労感から全員がぐったりしていました。

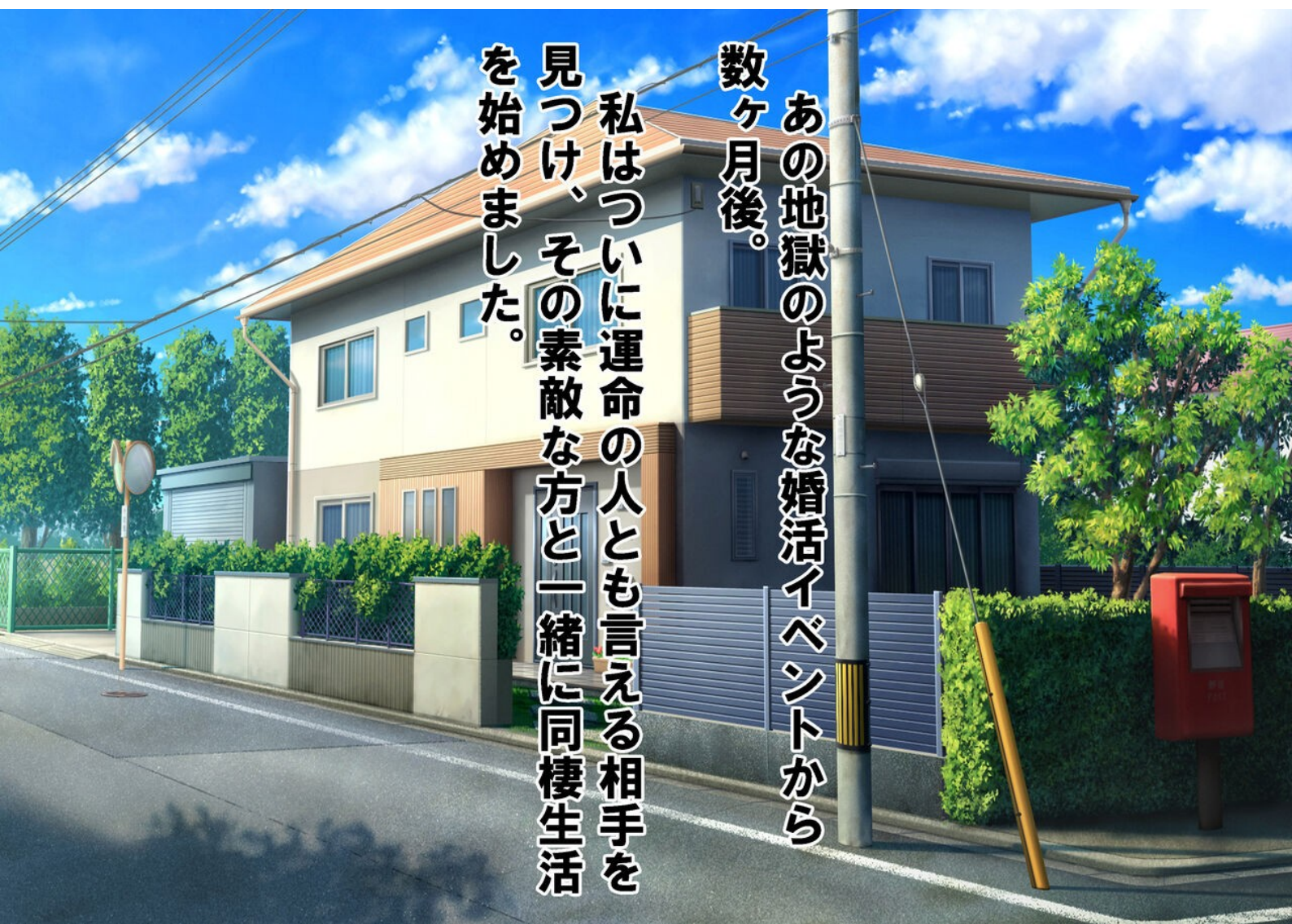
バスの中でぼんやりとしながら私は考えます。

婚活って何だろう・・・運命の人って誰なんだろう・・・私の女としての価値って何だろう・・・男・・・女・・・

色々な思いが交錯する中、バスは最寄りの駅まで走るのでした。

あの地獄のような婚活イベントから
数ヶ月後。

私はついに運命の人とも言える相手を見
つけ、その素敵な方と一緒に同棲生活を
始めました。



えー史帆ちゃん
ニンジンの皮むきって
これでいいの？

私に聞かないでよ
私だってほとんど
料理したこと
ないんだから(笑)

焦らずゆっくり
2人で学んで
行こう？



そう、運命の相手とは史帆ちゃんでした。

どんなに困難な状況でもずっと私を励まし続けてくれたし、多くの婚活パーティーで苦楽を共にした仲です。

いつのまにか誰よりもお互いを理解する間柄になっていたのでした。

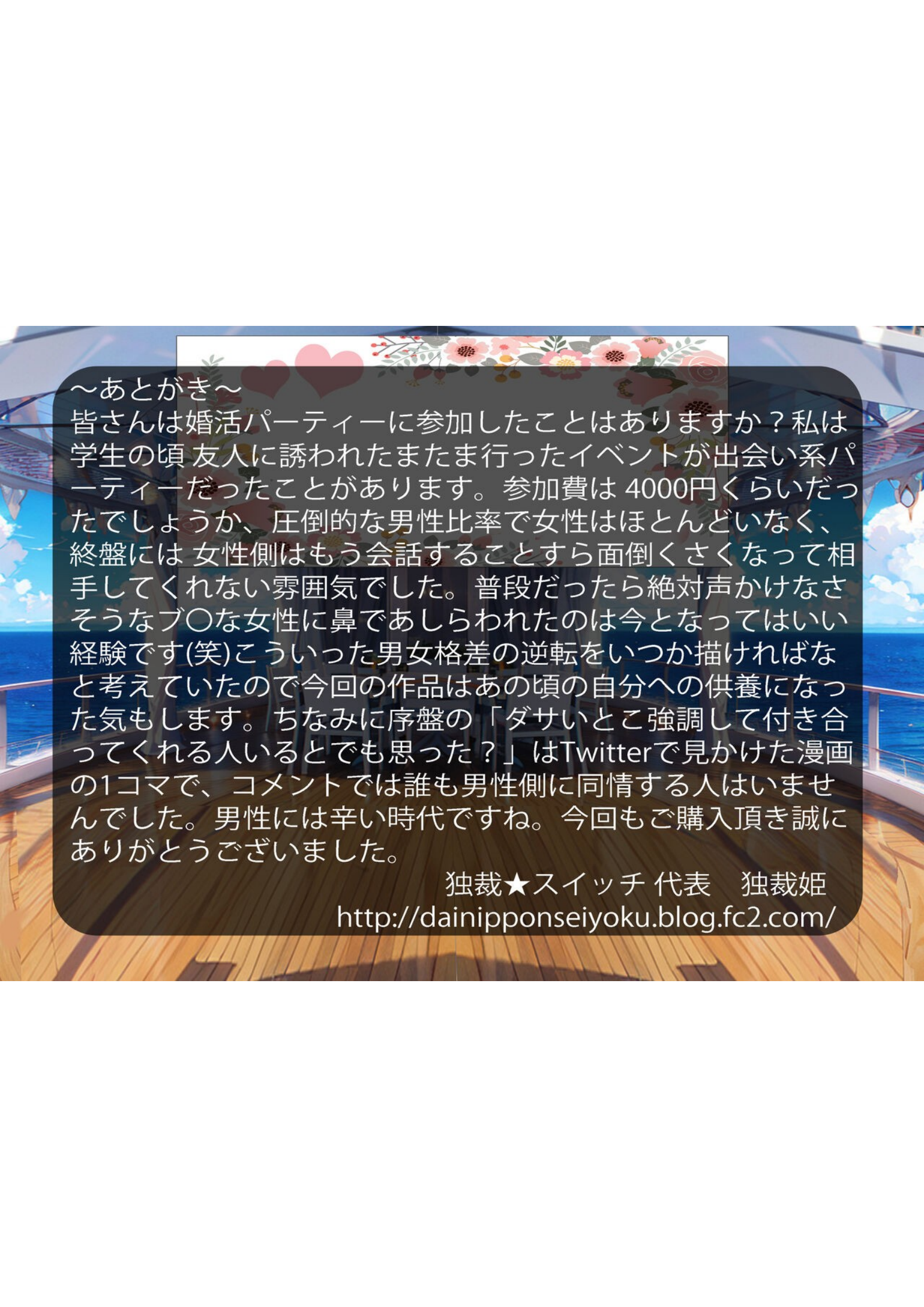




この同棲生活で小さな幸せを築き始めた私たち。当面の目標は同性婚が認められている海外へ行って挙式を上げること！そのためには貯金もしなきゃね。

私たちは夢に向かって新たな一歩を踏み出したのでした。





～あとかき～

皆さんは婚活パーティーに参加したことはありますか？私は学生の頃友人に誘われたまたま行ったイベントが出会い系パーティーだったことがあります。参加費は4000円くらいだったでしょうか、圧倒的な男性比率で女性はほとんどいなく、終盤には女性側はもう会話することすら面倒くさくなって相手してくれない雰囲気でした。普段だったら絶対声かけなさそうなブ○な女性に鼻であしらわれたのは今となってはいい経験です(笑)こういった男女格差の逆転をいつか描ければなと考えていたので今回の作品はあの頃の自分への供養になった気がします。ちなみに序盤の「ダサいとこ強調して付き合ってくれる人いるとでも思った？」はTwitterで見かけた漫画の1コマで、コメントでは誰も男性側に同情する人はいませんでした。男性には辛い時代ですね。今回もご購入頂き誠にありがとうございました。

独裁★スイッチ 代表 独裁姫

<http://dainipponseiyoku.blog.fc2.com/>

おまけ

今回の作品も再登場キャラが含まれています
過去作で確認してみるのも面白いかも？



司会者(宮野コートロー)



作品No.39「負けたら裸！昭和のクイズ番組！」



参加者女性



作品No.52「男子だけ裸のお仕置きスイミングスクール」



参加者女性



作品No.46「治験バイトの筈がM男搾精病院だった話」



DLsite fanza他
各種サイトに
販売中！





